

令和7年6月17日(火)

50th
ANNIVERSARY



今朝は生徒朝会がありました。例年行っている学校総合体育大会の壮行会です。各部の部長さんが登壇し、大会に向けた意気込みや決意が語られました。3年生の多くは、この大会が最後の大会になります。これまで積み重ねてきた努力を信じて、悔いのない大会にしてほしいです。学校総合体育大会は、明日の陸上競技から始まり、21日まで続きます。また、吹奏楽部は、23日に西部地区の発表会があります。私も各会場に応援に行きます。生徒の輝く姿を見届けたいと思います。



2年生の社会科は地理的分野の学習でした。本時は、日本のエネルギー自給率の低さを踏まえて、電力の確保について考えました。課題は、「日本は、今後どのような発電に力を入れるべきか」です。火力・水力・原子力・太陽光・風力・地熱・バイオマスなど、様々な発電方法がありますが、メリットとデメリットを勘案しながら自分の考えをまとめていきます。生徒が考える一番力を入れるべき発電方法は原子力でした。クラスの半数がこれを選びました。二酸化炭素が排出されず、原料であるウランが比較的入手しやすく、低コストという側面を重視しているようでした。もちろん、東日本大震災における原発事故を無視しているわけではありません。生徒は、今後技術開発の進展により、事故のデメリットを回避できると期待しているようでした。次に多かったのは、太陽光とバイオマスが7～8名程度。水力と地熱が3名程度でした。火力は一人もいませんでした。火力は、石油などの原料コスト高や二酸化炭素排出などを問題視しているようでした。みんなでいろいろな意見を出し合いましたが、日本のエネルギー自給率が6%という状況では、どれか1つに発電方法を絞ることはリスクが高い。いくつかの方法を組み合わせることが必要だろうという結論に至りました。



1年生の数学は文字式の授業でした。本時は、文字式が答えとなる問題作りに取り組みました。作問するにあたり、何を文字におくかをきめることがポイントです。一人一人が文字式を考え、それに合う文章問題をスクールタクトに打ち込んでいきます。作った問題は、全員が閲覧できる状況なので、実際に解くことができるかどうか確かめました。問題作りは、問題場面と条件設定が適切にできないと、解けない問題になってしまいます。つまり、適切な問題をつくれるということは、学習内容を理解しているかどうかをはかるバロメータにもなるわけです。

1年生の数学は文字式の授業でした。本時は、文字式が答えとなる問題作りに取り組みました。作問するにあたり、何を文字におくかをきめることがポイントです。一人一人が文字式を考え、それに合う文章問題をスクールタクトに打ち込んでいきます。作った問題は、全員が閲覧できる状況なので、実際に解くことができるかどうか確かめました。問題作りは、問題場面と条件設定が適切にできないと、解けない問題になってしまいます。つまり、適切な問題をつくれるということは、学習内容を理解しているかどうかをはかるバロメータにもなるわけです。



6月18日～6月20日の間、学校総合体育大会視察のため、「WEST LIFE 校長の目」はお休みします。